

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2019年10月18日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

介護制度と介護従事者の処遇の抜本的改善を！



大通公園で宣伝署名行動

介護に笑顔を！道連絡会は、介護保険制度の改善を求めて、宣伝・署名行動を行っています。

第2、第4水曜日の昼は、大通公園で行動し、介護職員が、深刻な介護現場の実態や制度の改悪の動きとその影響を伝え、署名を訴えています。

集めた署名は国会へ提出します。

北見市議会 国への意見書を採択！

オホーツク勤医協は、9月13日、北見市議会に対して、「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める意見書」の採択を求める陳情を行いました。

介護従事者が少なく増える事業所の閉鎖 介護が受けられない事態も 介護事業所の賛同広がる

市内の介護事業所にも賛同を呼びかけ、オホーツク勤医協の事業所をはじめ17事業所が賛同し陳情書を提出しました。

北見市内でも、介護従事者が少ないため、閉鎖する介護事業所が相次ぎ、必要な介護が受けられない状況も生まれています。その背景に介護従事者の低賃

金や劣悪な労働環境があります。そうした中、国はさらに、介護保険制度の改悪を検討しています。

介護事業所には、介護制度改善署名も依頼しましたが、260筆が寄せられました。また、「応援していますので頑張ってください」という励ましや、「用紙が足りないのでもっと送ってほしい」などの電話も寄せられました。

全会一致で意見書採択

全ての会派に陳情書の説明と要請、会派議員全員を集めて説明する時間をつくってくれた会派もありました。10月17日の議会で、全会一致で、国への意見書が採択されました。

採択された項目

- 1 ケアプランの有料化、要介護1,2の生活援助の給付削減及びデイサービス・ヘルパーの総合事業化など、サービスの抑制や負担増につながる見直しを行わないこと。
- 2 全ての介護従事者の賃金を大幅に引き上げ、労働条件を抜本的に改善すること。実効性のある介護職員の確保対策を講じること。
- 3 介護保険料、利用料負担軽減を図ること。必要な時に必要なサービスを受けられるよう、制度の改善を図ること。
- 4 介護保険財政に対する国の負担割合を大幅に引き上げること。そのために財源を国の責任で確保すること。

「介護の日」介護に笑顔を！道連絡会 アクション

11月10日(日) スピーチ&パレード

14時～ スピーチ(札幌駅南口広場) 15時～ パレード(大通公園まで)

11月11日(月) 介護・認知症 なんでも 無料 電話相談

10時～18時

☎0120-110-458